

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



茶指導販売課 亀山 毅人

病害虫の防除

「カンザワハダニ」

昨秋の越冬ダニ生息密度調査では、例年に比べて寄生率が低いです。近年の傾向として密度が少ない場合でも春先にかけて増えることが予想されます。この時期のハダニは日当たりの良いすそ部の葉裏に生息しやすいので、薬剤がしっかりとかかるように丁寧に散布しましょう。

・バロックフロアブル 2000倍(摘採14日前まで、1回)
・ダニゲッターフロアブル 2000倍(摘採7日前まで、1回)など

発生密度が高く、一番茶への被害が心配される茶園に
・ミルベノック乳剤 1000倍(摘採7日前まで、1回)

・ダニサラバフロアブル 1000〜2000倍(摘採7日前まで、1〜2回)
・スターマイトフロアブル 2000倍(摘採7日前まで、1回)など

(注意) 農薬ラベルを確認して希釈倍数や使用時期、回数などを守って使用しましょう。各地区の防除情報などに従って行ってください。

防霜対策

一番茶前の防霜施設の点検は重要な作業になります。しっかりと点検して新茶シーズンを迎えましょう。

防霜ファン

萌芽期のおよそ3週間前の3月上中旬ごろを目安に稼働させ、点検しましょう。古い防霜ファンも多いと思いますので、特に念入りに点検しましょう。

・柱の傾き
・サーモスタットが設定温度の3℃で作動するか
・ファンの角度や回転は正常か など

スプリンクラー

10a当たりの散水量は3〜4t、茶株面温度は外気温より3〜4℃低い2℃程度から日の出後30分くらいまで散水を行います。管の破損や目詰まり、ポンプなどの点検をおきましょう。